

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：平成28年6月17日（金）10時35分～11時10分
3. 場所：原子力規制庁 9階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

足立安全管理調査官、三澤安全審査官、加藤安全審査官、尾下安全審査官、

伊藤特殊施設審査官、小野係員、宮下技術参与

技術基盤グループ

安全技術管理官（核燃料廃棄物）付

南部技術研究調査官

福島第一原子力規制事務所

渡部原子力保安検査官

東京電力ホールディングス株式会社 プロジェクト計画部 担当5名

福島第一原子力発電所 担当3名

#### 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、以下の説明があった。
  - 汚染水対策スケジュールについて
  - 福島第一原子力発電所雨水処理設備運転状況および堰内雨水状況について
  - H I C上澄み水の抜き取り実績及び溜まり水の点検状況報告について
    - ✓ 第三施設に保管中のH I Cについて、新たに2基の上澄み水の水抜きを実施（計80基を実施済）。
    - ✓ H I Cのたまり水の点検作業について、第二施設のH I C 522基／685基（7巡目）、第三施設のH I C 848基／1343基（1巡目）が点検済。
  - G1タンクからの水移送（試移送）について
    - ✓ 試移送の結果、空気での圧送による水移送が可能であることが確認されたが、水抜きに時間（約5日）を要するため、今後水抜き期間短縮を検討予定。（72基／100基残水あり。）
  - タンクエリア本堰の設置進捗状況について
  - 2号機海水配管トレンチの監視状況について
    - ✓ 立抗Cへの水の流入について、O. P3. 2m程度まで傾向を監視予定。現時点では、地下水の流入と考えられるが、データ収集により評価精度を上げていく。
  - 廃棄物処理建屋間連絡ダクト溜まり水の対応状況について
    - ✓ 平成28年6月13日、予定していた範囲の充填を完了。今後、月に1回程度の頻度で流入の有無を確認予定。
- 原子力規制庁から、
  - G1タンクからの水抜き作業の短縮化の検討について、結果がまとまり次第説明すること
  - 最新のタンク建設進捗状況及び汚染水発生量を踏まえたタンクシミュレーション結果について、定期的に報告すること

等を求めたところ、説明するとの回答があった。

## 6. その他

資料：

- 汚染水対策スケジュール
- 福島第一原子力発電所雨水処理設備運転状況および堰内雨水状況
- H I C上澄み水の抜き取り実績及び溜まり水の点検状況報告
- G 1 水移送（試移送）について
- タンクエリア本堰の設置進捗状況について
- 2号機海水配管トレンチの監視状況について
- 廃棄物処理建屋間連絡ダクト溜まり水の対応状況について